

第1回知多市図書館機能調査検討委員会 議事録

開催日時: 平成30年6月22日(金) 14:00~16:00

開催場所: 知多市役所 多目的会議室

出席委員:

中部大学現代教育学部 現代教育学科教授	深谷 圭助
南山大学人文学部 人類文化学科准教授	浅石 卓真
知多市社会教育審議会会長	吉川 佳代
生涯学習地域推進員、岡田コミュニティ文化部会長	竹内 徳得
おはなし・みずぐるまメンバー	吉川 秀美
子どもの幸せを願うネットワーク こども幸せねっと代表	山本 俊哉
愛知県子育てネットワーク	岡戸 千尋
八幡中学校校長	栗本 弘太
こどものまちスタッフ(大学生)	喜多野 真紀
ちた未来塾受講者(大学生)	岡田 侑樹

事務局: 教育長 永井 清司、教育部長 岩田 光寿、生涯学習課長 柴山 利之、生涯学習課チーム長 黒川 衆史、生涯学習課 長尾 夕貴、高橋 達也、杉江 麻衣、朝倉駅周辺整備推進室 推進室長 春日谷 真史、推進室チーム長 市川 隆人

次 第:

- 1 あいさつ
- 2 委員及び事務局職員紹介
- 3 図書館機能調査検討委員会について
- 4 委員長及び副委員長の選任について
- 5 報告事項
 - (1) 朝倉駅周辺整備基本構想について
- 6 検討事項
 - (1) 知多市の図書館の現状と課題について
 - (2) 図書館整備に関する概要について
 - (3) 図書館利用等に関する市民アンケート調査等について
 - (4) 意見交換
- 7 連絡事項等

配布資料:

- 資料1 図書館機能調査検討委員名簿
- 資料2 知多市図書館機能調査検討委員会について
知多市図書館機能調査検討委員会設置要綱
- 資料3 朝倉駅周辺整備基本構想(概要版)
- 資料4 図書館の現状と課題
- 資料5 図書館整備に関する概要について
- 資料6 図書館利用等に関する市民アンケート調査等について
- 資料7 今後の日程について

議事内容

1 あいさつ

事務局 ただいまから、平成30年度第1回知多市図書館機能調査検討委員会(以下、「本委員会」)を開会する。本委員会の議長は、「知多市図書館機能調査検討委員会設置要綱」第3条第4項の規定により、委員長が務めることになっているが、委員長が決まるまでの間、事

事務局が仮議長を務めさせていただくので、よろしく願う。委員会開催にあたり、市長よりあいさつ申し上げる。

市長 皆様には本委員会の委員への就任をご快諾頂き、感謝申し上げます。素晴らしい図書館の整備に向けてご議論いただくよう、よろしく願う。市では平成29年度に朝倉駅周辺整備基本構想を策定した。朝倉駅は1日あたりの乗降客数が約8千人で、市の駅の中では最も乗降客数の多い主要駅である。駅周辺には市役所をはじめとした複数の公共施設が立地し、市の玄関口にふさわしい施設が揃っているが、現状は駐車場しかない状況である。そこで、にぎわいの創出に寄与する公共的施設として図書館の整備を考えており、駅周辺を交流・にぎわいのある場にしたいと考えている。委員の皆様には忌憚のない意見をお願いしたい。現状の市役所がある位置を商業ゾーンとし、その中に図書館を配置し、素晴らしい場所として整備したいと考えているので、よろしく願う。

2 委員及び事務局職員紹介

(委員及び事務局職員自己紹介)

3 図書館機能調査検討委員会について

事務局 (資料2の説明)

事務局 本委員会の議事録はホームページへの公開を予定している。忌憚のない意見をお願いしたい。

事務局 ただいまの説明について、質問はあるか。

(質問なし)

4 委員長及び副委員長の選任について

事務局 知多市図書館機能調査検討委員会設置要綱第3条第3項に「委員会に委員長及び副委員長を各1名置き、それぞれ委員の互選により定める」と規定されている。互選には、指名推薦、投票などの方法があるが、指名推薦で委員長、副委員長を選出とさせていただいてよろしいか。

(異議なし)

事務局 異議がないようなので、委員長、副委員長を指名推薦により選出する。どなたか推薦願う。

委員 学識経験者の方から、委員長に深谷委員を、副委員長に吉川佳代委員を推薦する。

事務局 委員長に深谷委員を、副委員長に吉川佳代委員をご推薦いただいた。他に推薦はないか。

(推薦なし)

事務局 ないようなので、お諮りする。委員長に深谷委員を、副委員長に吉川佳代委員が就任されることについて、異議はないか。

(異議なし)

事務局 異議がないようなので、委員長は深谷委員に、副委員長は吉川佳代委員にお願いすることに決定する。

委員長 皆様のご協力をいただきながら議事を進行したい。活発な意見をお願いしたい。

副委員長 皆様の意見を期待している。

事務局 委員長には、これ以後の議事の進行をお願いする。以上で、私の仮議長の任を終わらせていただく。

5 報告事項

(1) 朝倉駅周辺整備基本構想について

推進室 (資料3の説明)

委員長 この基本構想は図書館整備の上位計画となる非常に重要なものである。意見等はあるか。
委員 朝倉駅前は何も無い印象が以前からある。東海市の太田川駅周辺は商業施設等があり人が多いイメージであり、知多市においてもにぎわいのある駅前地区ができれば良いと思う。
委員長 若い人が来たいと思える地区になると良いと思う。

6 検討事項

(1) 知多市の図書館の現状と課題について

事務局 (資料4の説明)
委員長 ただいまの説明について、意見等はあるか。
委員 現状の施設が老朽化していて使いにくいことは確かだと思うが、耐震診断の予定はどうなっているのか。
事務局 耐震基準は満たしており耐震上は問題無いが、外壁のクラック等によって雨漏りが発生している状況である。
委員 現状の中央図書館の指定管理の職員は何人くらいなのか。また、利用者の年代はどのくらいか。
事務局 現状の指定管理者 TRC の職員は合計22名、そのうち司書資格保有者は55%。利用者の年代は中高年が中心である。
委員 利用者数は近隣市町の図書館や同規模の図書館と比較してどの程度の水準なのか。
事務局 近隣市町の中では大府市の図書館が平成20年以降に設計された最新型のもので、人口10万人弱の自治体の中では全国で最も貸出図書数が多くなったと聞いている。現状の知多市の年間利用者数は約11万人で、近隣市町と比較すると中堅程度の数となっている。
委員 貸出冊数及び利用登録者数が増加している時と減少している時の原因について、どのようにお考えか。人口が増加しているのに貸出冊数等が減少している原因や、特に平成24年度から25年度の減少が大きくなっている原因を伺いたい。
事務局 平成21、22、23年度が貸出冊数及び利用登録者数のピークとなっており、この時期は指定管理者制度を導入した直後で、様々なイベント等を実施した成果が出たと考えられる。その後の減少は図書館の全国的な傾向と一致していると言える。本離れ、活字離れのほか、以前は図書館で入手していた情報がインターネットやスマートフォンで手に入る時代になったことが最も大きな原因ではないかと考えている。
委員長 全国的に書籍の販売冊数は1996年頃から減少しはじめ、図書館の利用は2011年前後から減少しはじめたと言われており、知多市も同様の傾向が表れていると言える。
その他、意見等はあるか。

(意見等なし)

(2) 図書館整備に関する概要について

事務局 (資料5の説明)
委員長 ただいまの説明について、意見等はあるか。
委員 現状の中央図書館は交通が不便であり、移転によってその解消が期待できる点は良いことだと思う。ただ、岡崎市の複合施設、図書館交流プラザリぶらは、図書館だけでなくイベント等の開催もあり非常に良いと思うが、複数の機能があることで駐車場が混雑することもあり得ると考えると、図書館利用のみが目的の人はどう思うのかという点が気になる。新図書館とともに本屋も整備されるのであれば、本屋との連携ができそうである。
委員 図書館に必要な機能とは何なのか、専門家の委員に伺いたい。
委員 時代とともに変化してきている。以前の図書館は本の貸出が求められていたが、1990年代、2000年代からは、イベントを実施してにぎわいを生み出す、家族とゆっくり過ごせる空

間とするとといった滞在型の機能が求められてきており、現在もそういった機能が求められている。これからつくる新図書館は、せつかなのでもう少し先のことも考えて整備していけると良いと思う。

委員長 これまでの図書館は貸出冊数が重要視されていたが、これからの図書館は本の貸出機能だけでなく様々な機能が求められると思う。知多市に住みたいと多くの人に思ってもらえるような施設になると良い。

委員 現状の図書館では蔵書スペースが足りないとのことだが、新図書館の利用方法やどのような図書機能を置くかによって必要なスペースが異なると思う。

委員長 中央図書館の書庫を拝見したが、ほとんど使わない本が多くあった。多くの本を収納しなければならぬ時代ではなく、新しい技術と関連させながら省スペースも実現していくべき。スペースの確保には費用もかかるため、重要な課題だと思う。

委員 設置する機能の方向性を決めるべき。

委員長 現状の蔵書をどうしていくかという点も含め、非常に重要な課題だと思う。

副委員長 現状のまちづくりセンター図書室の位置づけはどのように考えているのか。

事務局 現段階で断定的なことは言えないが、存続したいと思っている。中央図書館一つだけでなく、各地域に身近な図書機能があるのは大事なことと考えている。

副委員長 現状の中央図書館の位置づけはどのように考えているのか。

事務局 知多市の財政状況もかんがみると、現状と同規模の施設を2か所設置することは困難。確定ではないが、移転と考えている。

委員 現状の蔵書は、資料的価値が無く廃棄するものを除き新しい図書館に移転するのか。

事務局 すべて新調は不可能なため、取捨選択し価値のあるものは移転と考えている。他の図書館で入手可能なもの及びデジタルデータに対応しているもの並びに雑誌は原則廃棄する。新図書館の規模が現段階では未定なので、規模が決まり次第具体的に検討していく。

委員 現状の中央図書館を解体するかどうかは決まっているのか。

事務局 図書館の移転については、公共施設再配置計画において検討中であり、今年度末に計画は策定予定だが、現施設の取り扱いや跡地利用については、今後、庁内意見、市民意見等を踏まえた上で検討していく。

(3) 図書館利用等に関する市民アンケート調査等について

事務局 (資料6の説明)

委員長 ただいまの説明について、意見等はあるか。

委員長 アンケート調査の分析結果は今後出てくるのか。

事務局 現在集計中であり、今後お示しする。

委員長 岐阜市の中央図書館の整備にあたっては、小学校を通して児童の意見も聞いたと伺ったので、参考にしてはどうか。その他、意見等はあるか。

(意見等なし)

(4) 意見交換

委員長 本日は第1回委員会とのことで、質問のほか、どのような図書館機能を期待したいかといったことについて、順番に伺いたい。

委員 資料4、(2)図書館の課題、中央図書館の利用者アンケート調査結果において、図書館の利用目的のうち「学習のための座席利用」が少ないことが気になっている。現状の利用者は年齢層の高い人が多いとのことだが、中高生の利用目的としては学習スペースの利用が最も多いと思うので、この年代の利用者を増やすのであれば学習スペースの充実が必要だと思う。電源や飲食スペースも不足しているとのことだが、学習中に調べ物を

行う上でも電源は必要。また、閲覧スペースで勉強する人もいるが、それとは別に学習スペースが必要だと思う。八幡まちづくりセンター図書室や青少年会館の学習室を利用するが、青少年会館は入口付近のスペースでは飲食しながら勉強できる一方で学習室では飲食禁止となっている。人によって求める学習環境が異なるので、両方の選択肢があると良いと思う。

委員 開館時間は現状の時間を継続するのか、変更する予定なのか伺いたい。
事務局 市民アンケート・利用者アンケートで開館時間について質問しており、市民意向を踏まえて弾力的に運用する予定。駅前であれば、現状の19時閉館は早いと思っているが、市民意向の結果を踏まえて検討していく。

委員 若者世代は図書館を自習室として利用することが多い。開館時間について、太田川のユウナル東海は22時閉館であり、部活終了後に移動する高校生にとって利用しやすい。青少年会館の21時閉館も良いが、中央図書館の19時閉館というのは学生にとっては少し時間が足りないと思う。

また、中央図書館では一般閲覧室を使う学生が多いが、テスト期間になると学生で溢れかえり読書したい人が利用できないという状況があったため現在は読書専用机が設けられている。しかし、学生にとっては席が空いているのに読書専用のため利用できないとなると不便だと思われ、読書用スペースと学習スペースは別々に設置してほしい。

また、学習目的の学生は一日中利用することが多く、飲食スペースが無いことや近くにコンビニ等が無いことが不便なので、飲食スペースは確実につくる必要があると思う。

最も検討していただきたいのは開館時間についてである。

委員 1月に一宮市の図書館を見学した。駅の上にある図書館で、夕方16時頃だったが、多くの人が出た。滞在型の図書館の話が出たが、これからの図書館は若い世代含め多様な人が集まり、様々な情報を手に入れられる場所になると良いと思う。また、「ちょうどいいまち知多」というキャッチフレーズは非常に良いが、図書館については知多市らしさのある個性的な施設、途中下車したくなるような施設になると良い。

委員長 一宮市の図書館はある意味一つのモデルと言える。

委員 小さい子連れやベビーカーで来る母親も多いので、通路幅が広いと良い。本棚の背を低くしたり、子どもでも探しやすいよう分野別に本が分類されていると良いと思う。また、資格の勉強をする母親が増えているので、わかりやすい専門書等の児童コーナー近くへの設置を考えていただきたい。さらに、絵本の読み聞かせコーナーは新図書館にもあると良いが、子どもは声をどうしても出してしまうので、児童コーナーと学習スペースは少し離れた位置にあると良い。親子で学習できるようなスペースがあると、このあたりではそういった例がなく、良いかもしれない。飲食スペースについては、子どもが散らかしたり本を汚してしまう可能性もあるため、図書館の中ではなく複合施設全体で連携すれば良いと思う。

利便性が良くなることに期待している。

委員長 飲食スペースは必ずしも図書館の中ではなく、外の施設と連携してはという意見をいただいた。他の図書館では蓋付きの飲み物のみ可としている例などもあり、飲食を完全に禁止するのではなくルールを設定して飲食可とする検討も必要かと思う。

委員 昔は図書館を勉強するスペースやデートコースとして利用していた。途中下車して待ち合わせに利用する等、若い世代が集えるような場所になると良い。ただ、半田市は平成18年に駅前再開発で複合施設等を整備したがあまりにぎわいを生み出せておらず、先日リニューアルしたが中々難しいようだ。市税を使う事業でもあり、こういった事例には注意する必要があるかと思う。

委員長 駅前開発を実施したがあまり効果が出なかったという事例はいくつかあるので、参考にすると良いと思う。

- 委員 先日、豊田市の図書館を見学した。駅前の参合館という施設の中にあり、開架フロアが2フロアあり非常にゆったりしていきつろげ、赤ちゃん連れもベビーカーをひいたまま訪れることができる。読み聞かせコーナーも知多市の中央図書館よりも大きい。また、壁面に座って本を読むスペースがあり、余裕のあるつくりになっている。特にベビーカーで本を探せるのはとても良いと思う。また、知多市の図書館としては、竹内理三氏のコーナーは現状よりも充実させていただきたい。また、閲覧、電子機器の持ち込み、開架、読み聞かせその他に対応していくには相当のスペースを確保する必要があると思われ、1フロアでは足りないのではないかと。閉架図書も、後から取りに来るのは不便なため同一建物に設置してほしい。また、朝倉駅の位置は市の中心ではなく、車で訪れる人が多いことが予想されるため、駐車スペースを十分に確保していただきたい。
- 委員長 広さを追及するとある程度の施設規模が必要であり、大きな課題かと思う。
- 委員 フロアの数等、図書館のイメージがまだわからないので何とも言えないが、多機能化は必要だと思う。市の中心地の位置が偏っており、公共交通があまり利用されておらず車社会からは中々抜け出せないため、車への対応は相当に注意する必要がある。中央図書館は窮屈な感じがするので、もう少しゆったり利用できるスペースがあると良いと思う。
- 副委員長 新図書館のスペースについて、読み聞かせや映画会など、現在の中央図書館で活動しているボランティアの人のためのスペースがうまく確保できるのか特に懸念している。
- 委員長 他の地区に比べてボランティア活動が盛んで、高いレベルで市民の方が関わっていると思うので、現状を維持できると良いと思う。
- 委員 近年は電子書籍の貸出サービスやデジタルアーカイブのある図書館が増えてきた。また、自動貸出機の設置が普及しており、大規模図書館では自動返却機を設置しているところもある。ペッパー君による案内を導入している図書館もあり、図書館の自動化は今後も進展していくと思われる。これら、電子化や自動化への対応について検討していく必要がある。また、知多市のオリジナリティのある図書館にする必要がある。長崎では医療情報支援サービス、大阪や横浜ではビジネス支援サービスを提供している等の例があり、知多市の特性に合ったサービスを展開していく必要があると思う。
- 委員長 図書館は広い意味で住民サービスのコアになる施設であるべきで、図書館整備は知多市の発展に対して重要な使命を持っていると思う。現状の図書館利用者の理解も重要であるし、子育て世代や、退職後の高齢者が知多市に住みたいと思えるような施設にできると良い。高齢者が使いやすい施設と考え、重い本を持ち帰るのではなくデジタルを活用していくという検討も必要になってくる。新しい技術をどのように導入するか、また、機能と機能をどのように折り合いをつけていくかといった検討が必要である。
- 委員 太田川の施設が評価されており、確かに様々な施設があって良いのだが平日は人が少なく、イベント開催もしているようだが難しいようだ。参考にしていきたい。
- 委員長 時間帯によって利用者が異なるので、時間別のマネジメントが必要かと思う。
- 委員 市外の人意見も聞いてみるべきではないか。
- 委員長 市税を使用する事業なので市民ファーストではあると思うが、市外の人ニーズも考えていけると良いと思う。
- その他、意見等はあるか。

(意見等なし)

7 連絡事項等

事務局 (資料7の説明)

事務局 新図書館の施設整備は知多市で初めて PPP/PFI 手法を導入して実施していく予定であり、第2回委員会の視察先の図書館は2か所とも PFI 手法で整備されたものなので、非常に

参考になるかと思う。

委員長 委員の皆様にご意見をいただいたが、市民の意見も重要であるし、知多市に勤務している人や市外の人にも使っていただける施設になると良い。ぜひ様々な観点からご意見いただければと思う。

推進室 施設整備は複合施設の中にテナントとして入れる手法のほか、他の施設と隣接して単体で整備するという手法もあり、安城市のアンフォーレはこの手法によるものである。視察にあたっては、この観点も踏まえて見ていただけると良いかと思う。

委員長 図書館は大きく変わってきているため、ぜひ様々な事例を見ていただきたい。その他、意見等はあるか。

(意見等なし)

3 閉会

以上